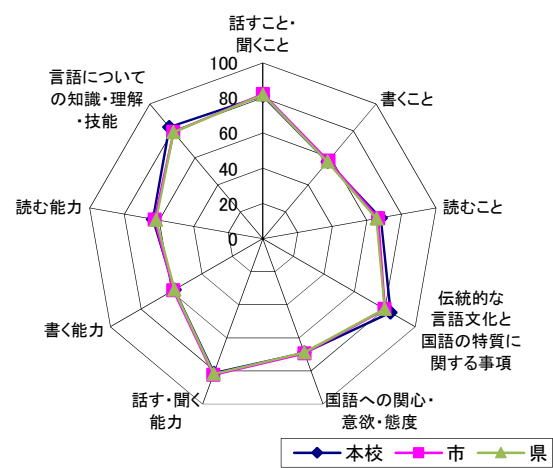


宇都宮市立 星が丘中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	81.3	82.3	81.8
	書くこと	57.2	58.0	57.2
	読むこと	68.1	66.6	65.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83.8	80.0	79.9
観点	国語への関心・意欲・態度	68.9	69.4	68.8
	話す・聞く能力	81.3	82.3	81.8
	書く能力	58.0	58.8	58.1
	読む能力	63.5	62.5	61.7
	言語についての知識・理解・技能	82.9	79.2	79.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「話の内容を正確に聞き取る」設問の正答率は91.3ポイントで、県の正答率よりも4ポイント上回っている。 ●領域の正答率81.3ポイントで、市や県の正答率よりやや低い。	・普段の授業の中でも自分の意見を整理して発言することや、相手が伝えたいことをきちんと理解できるようにしていく必要がある。また、今後も聞き取りテストの実施を継続して行い、話の要点や要旨を的確に把握できるように指導していく。
書くこと	○「指定された文字数で書く」「読み取った内容を明確に書く」設問では、県の正答率よりも2ポイント程度上回っている。 ●「伝えたい事実や事柄について自分の考えを明確にして書く」の設問では、県の正答率をやや上回っているものの、正答率が26.0ポイントと低い。	・様々な表現技法や文章表現力などの基礎的な学力を身に付けさせた上で、与えられた課題について、どのように自分の考えをまとめて書いていけばよいかなど、授業や作文指導等の中で継続的に教えていく。
読むこと	○領域の正答率は市や県に比べ、2ポイント程度上回っている。 ●すべての設問において県の正答率より上回っているものの、「文学作品に対する登場人物の心情の変化をとらえる」では、正答率が50.2ポイントと低い数値であった。	・文学的文章の内容理解については、場面の展開や心情を映し出す描写等に注目させ、論旨を正確に読み取ったり、登場人物の心情を読み深めたりする力を育てていきたい。また、登場人物の心情を的確に読み取りながら、その作品が伝えたいことを把握できるよう継続的に教えていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○領域の正答率83.8ポイントで、市や県に比べ、4ポイント程度上回っており、特に漢字の読みに関しては、どの設問も正答率が85ポイントを超えている。 ●漢字の書き「弟に辞書を貸す」の正答率が、47.0ポイントと県の正答率を、8.4ポイント下回った。	・漢字の読み書きに関しては、定期的に漢字テストを行い、基礎的な力を養うことが不可欠である。また、普段の生活においても、漢字を意識的に使うよう指導し、読みと書きのバランスの取れた力を育てていく。